

語

国

注意事項

- [一] (現代文) は必須。全員が解答せよ。
- [二] (現代文・三] (古文) は選択。どちらか一題を選び解答せよ。
- 必須一題 [一]、選択一題 [二] または [三]、計二題の解答となる。

問題を正しく選び解答すること。

国語

[一]

(全員が解答)

次の文章を読み、後の問に答えよ。

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

「著作権の係上、文章は掲載してありません。」

(小谷野敦『「ころ」は本当に名作か』による)

注 江藤淳 文芸評論家。一九三二～一九九九。

ロマン・ロラン フランスの小説家。一八六六～一九四四。

国語

問一 傍線部a～eのカタカナを漢字に直して解答欄に記せ。

問二 空欄(X)(Y)(Z)を補う語として最も適当なものを次のア～オから一つずつ選んで解答欄に記号で記せ。

ア もちろん イ そして ウ だから エ つまり オ だが

国語

問三 空欄(I)(II)にあてはまる作家名をそれぞれ次のア～オから一つずつ選んで解答欄に記号で記せ。

ア 夏目漱石 イ 太宰治 ウ 島崎藤村 エ 志賀直哉 オ 芥川龍之介

問四 空欄(A)には同じ二字の漢字の熟語が入る。最も適当な二字の漢字熟語を自分で考え、解答欄に記せ。

問五 傍線部①「こんな時代」とは、どのような時代か。三十字以上四十字以内で説明せよ。句読点も字数に含める。以下、同じ。

問六 傍線部②「私なども、挫折したか、あるいはたまたま別の用事で忙しくなったか、上巻が終わって下巻を買う気にならなかったとかいう場合、間にたとえ十年が挟まっても、その続きから読む」とあるが、「私」はなぜそうすべきと考えているのか。七十字以内で説明せよ。

[二] (選択問題) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

「著作権の係上、文章は掲載してありません。」

「著作権の関係上、文章は掲載しておりません。」

(小林秀雄「無私 of 精神」による)

- 問一 傍線部 a～e のカタカナを漢字に直して解答欄に記せ。
- 問二 空欄 (A) を補う語として最も適当な四字熟語を、次の選択肢 (ア) ～ (オ) から選び、記号で記せ。
- ア 意気揚々 イ 一攫千金 ウ 千載一遇 エ 大言壮語 オ 泰然自若
- 問三 空欄 (B) (C) (D) を補う語として最も適当なものを、次の選択肢 (ア) ～ (オ) からそれぞれ一つ選び、記号で記せ。
- ア また イ だが ウ もし エ しかも オ したがって
- 問四 問題文に次の文を補入する場合、本文中の [1] ～ [7] のどこに入れるのが最も適当か。番号を解答欄に記せ。
- ・物の動きに順じて自己を日に新たにするとはいく種の無私である。
- 問五 傍線部①「手も足も出ない」、④「ゆるがせには出来ぬ」とあるが、それぞれの言葉の意味を簡潔に説明せよ。
- 問六 傍線部②「一口に実行家と言っても、いろいろある」とあるが、筆者が評価する実行家とはどのような人物か。問題文全体を踏まえて、五十文字以内で説明せよ。句読点も字数に含める。以下、同じ。
- 問七 傍線部③「批評という仕事」とあるが、筆者は批評をどのようなものと述べているか、本文中の言葉を用いて三十文字以内で説明せよ。

〔三〕(選択問題) 次の文章を読み、後の問に答えよ。

今は昔、一条摂政とは、東三条殿の兄におはします。御かたちよりはじめ、心もちひなど、めでたく、^①さえ・ありさま、まことしくおはしまし、また色めかしく、女をもおほく御覧じ興ぜさせ給ひけるに、すこし軽々におぼえさせ給ひければ、御名を隠させ給ひて、大蔵の丞豊蔭と名乗り、うへならぬ女のがりは、御文もつかはしける。懸想せさせ給ひ、あはせ給ひもしけるに、

国語

国語

皆人、^②さ心得て、知り参らせたり。

やむごとなく、よき人の姫君のもとへ、^③おはしましそめにけり。乳母、母などを語らひて、父には知らせさせ給はぬほどに、^④聞きつけて、いみじく腹立ちて、母をせため、爪弾きをして、^⑤いたくのたまひければ、「さることなし」と^⑥あらがひて、「まだしきよしの文、書きてたべ」と、母君のわび申したりければ、

A 人知れず身はいそげども年をへてなど越えがたき逢坂の関

とてつかはしたりければ、父に見すれば、「さては、そらごとなりけり」と思ひて、返し、父のしける、

B あづまちにゆきかふ人にあらぬ身はいつかは越えむ逢坂の関

豊蔭見て、^⑦はほえまれけんかしと、御集にあり。をかしく。

(『宇治拾遺物語』による)

注 一条摂政 藤原伊尹

東三条殿 藤原兼家

せため、爪弾きをして 責め、批難をして。

まだしきよしの文 まだ逢っていないことを示す手紙。

問一 傍線部①を漢字で表記する場合、どのような表記が適切か。次の選択肢から一つ選び、その記号を記せ。

ア 呀 イ 伎 ウ オ エ 小枝 オ 小絵

問二 傍線部②の現代語訳として最も適しているものを次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 一条摂政のことを理解して、お気持ちを存じ上げていた

イ 一条摂政が手紙を送っていると理解して、内容をお知らせしていた

ウ 一条摂政のまたの名を知ったうえで、周囲にも伝えにやっけていた

エ 本名をお隠しになっていることを心得て、一条摂政だと存じ上げていた

オ 本名とは違ってお名前をお使いになっていると知り、一条摂政のお気持ちを伝えしにいった

問三 傍線部③・④・⑥の主語を次の選択肢からそれぞれ選び、その記号を記せ。

ア 豊蔭 イ 皆人 ウ よき人の姫君 エ 乳母 オ 父 カ 母

問四 傍線部⑤を、「何を」にあたる内容を補って、分かりやすく現代語訳せよ。

問五 A・Bの和歌の説明として最も適しているものを次の選択肢からそれぞれ選び、その記号を記せ。

A

ア 「身」とは自身のこと、何年経ってもあなたに会えないと、姫君に訴える歌である。

イ 「身」とは自身のこと、人に知られないようにしている恋のつらさを、姫君に嘆く歌である。

ウ 「身」とは自身のこと、姫君の父に許してもらえないまではあなたに会えないと、姫君に伝える歌である。

エ 「身」とは姫君の父のこと、二人が会えないようひそかに邪魔をしている姫君の父へ、許しを請う歌である。

オ 「身」とは姫君の父のこと、気は急ぐが実際は姫君には会ったことはない、姫君の父に証明する歌である。

B

ア 豊蔭に会いたくないと伝える、姫君の歌である。

イ 豊蔭になら娘を任せてもよいと伝える、父の歌である。

ウ 豊蔭に早く会いに来てほしいと伝える、姫君の歌である。

エ 豊蔭と会うつもりはないと娘に代わって詠んだ、父の歌である。

オ 豊蔭と会える日を楽しみにする思いを表した、姫君の歌である。

問六 傍線部⑦のようになった理由を説明せよ。

問七 『宇治拾遺物語』が成立したと考えられる時代と同時代に成立した作品を、次の選択肢から選び、その記号を記せ。

ア 「新古今和歌集」 イ 「万葉集」 ウ 「古事記」 エ 「伊勢物語」 オ 「雨月物語」